

1999年3月より観測を開始し、現在まで継続的な観測を行なっている。この間、測器に特に異常がなく、データが得られている。データは学生や院生の卒業研究や修士研究のテーマとして、解析が行なわれている。また2007年3月より、平塚の附属施設においても、全天、UV-A、UV-Bの日射計を設置して、観測を継続している。都市部（横浜）とその近郊での日射量の変動について、比較観測を行なうことが目的である。

都市部におけるエアロゾルの紫外日射に及ぼす影響の長期変動や、エアロゾルの光学的特性などをUVデータより解明している。下図は横浜と陸別におけるUV-Bに対するエアロゾルの光学的深さを南中時の強度から求め、図示したものである。両観測点ともエアマス1の場合の値に補正してある。季節変化や長期変動に両者の差が見られる。

